



諏訪清陵SSH便り

諏訪清陵高等学校

3月号 - ③

平成25年度第18号

(平成22年度指定)

アラスカ大学研修スタート！

本日 14 時 30 分からアラスカ-諏訪清陵ネットミーティング（物理室で）

現地時間 3月3日(月)にアラスカ州フェアバンクスに無事到着した旅行隊は、当日深夜、フェアバンクス郊外のスキーランドというオーロラ観測で著名な場所に出かけて観測を始めました。

オーロラは太陽の活動と関係があり本年は太陽活動の活発な時期に当たっているため、当日も大変美しいオーロラを観測することが出来たそうです（右写真）。赤、青、そして緑色のオーロラが SSH コースの諸君の目の前で激しく動きました。

残念ながら4日、5日のオーロラ観測は降雪と曇天で出来ませんでした。自然現象ですから仕方がありません。昨年度は、3日間晴天に恵まれましたが、激しいオーロラを観測できたのは最終日の1時間余でした。今年の初国には滞在4日目の本日の晩、フェアバンクス市内から最後の観察の機会があります。当日は快晴の予報が出ており観察できると良いですね。



アラスカ大学講義受講、SSH コース生徒は課題探究英語発表



アラスカ研修のもう一つのハイライトはアラスカ大学での講義と実習の受講です。アラスカ大学国際北極圏研究センター（IARC）の建物は、前所長赤祖父俊一名誉教授を記念して「AKASU-BUILDING」と命名されており、建物の入り口には米国旗と日本の日の丸が掲揚されています（写真左）。初日の4日（火）は、冒険家 Rozzel 氏による「北極圏の自然」、Dr. Alexeev 氏による「北極の気象」、そして Dr. Sparrow 氏による「実験観測と機器の校正 (calibrate)」を受講しました。

Dr. Sparrow 氏は色々な温度計や GPS を活用しながら、次実験観測において機器の校正を行うことが大切なことを教えてくださいました（写真下）。

どの講義も尖先生方の熱が入って、1時間の予定が1時間半ほどになったそうです。

また、すべての講義が終了後、アラスカ大学の先生方の前で、2学年 SSH コースが今年度1年間取り組んできた課題探究を英語で発表させていただきました。

小池君、根橋君、矢島君の3人が取り組んできた「スプライトの観測と正極性落雷の関連～受信機の製作と電波観測～」については、赤祖父先生やスパロウ先生から質問を頂きました。赤祖父先生には、スプライトの発見者がアラスカ大学の先生であり、時間があれば、明日以降、講義に来てアドバイスをしていただけるよう手配していただきました。



本日（3月7日）14時30分から物理室で、アラスカとビデオ通話（スカイプ）で結んで、「ネットミーティング」を実施します。

標記の日程で、アラスカのホテルに滞在中の2 SSH コース生徒諸君とビデオ通話を利用してミーティングを行います。関心のある方はぜひ参加して、アラスカでの活動の様子を質問してください。